



淡路駅付近連続立体交差事業だより

Vol.10

～淡路駅周辺で行われている工事を紹介します～



◆淡路駅周辺の工事の紹介

今回は、淡路駅周辺で行われている工事について紹介します。

○淡路駅前で工事が本格化

淡路駅周辺は、現在の線路の横に高架構造物をつくる「別線(べっせん)工法」と、現在の線路の横に仮の線路を設け、それにより空いたスペースに高架構造物をつくる「仮線(かりせん)工法」を組み合わせて高架構造物をつくっていきます。※

※工法については「事業だより Vol.02(H24.01)を参照して下さい。

また、淡路駅の東側では、本事業と併せて土地区画整理事業が進められており、建物の移転によって生まれたスペースで、昨年の7月から右の写真のとおり工事が本格的に行われています。

淡路駅周辺地区土地区画整理事業については、今回の事業だよりの後半で説明します。



淡路駅東側

○淡路駅南側に高架構造物が完成

淡路駅南側には、右の写真でも分かるように高架構造物が立ちあがってきています。平成25年11月には、千里線(北千里方面行き)の線路を仮線へ切替えて、高架構造物の建設を進めています。



淡路駅南側(左 千里線・右 京都線)

○高架化された将来の淡路駅

現在は、踏切や地下通路を通らなければ、線路を越えての通行ができません。連続立体交差事業が完了し、下のイメージ図のように線路と駅が高架化されることにより、踏切がなくなり高架下を通行することができるようになります。



将来のイメージ図



淡路駅付近連続立体交差事業だより

Vol.10



～淡路駅周辺地区土地区画整理事業について～

◆淡路駅周辺地区土地区画整理事業

淡路駅周辺地区土地区画整理事業は、当駅を中心に商店街が形成された古からの市街地であるものの、地区内には老朽木造家屋が密集し、狭隘な道路が多く防災上の問題があったため、連続立体交差事業とあわせて、交通の円滑化と密集市街地の解消により、健全な市街地の形成を図ることを目的に実施されています。

○土地区画整理事業の内容

土地区画整理事業では、下の図のとおり都市計画道路、区画道路、駅前交通広場及び公園等の整備を行うことにより、交通の円滑化と安全で快適な歩行者空間の確保、並びに防災性の向上等が図られています。

道路や公園等の公共施設は、事業前の公共施設用地と住民の皆様からの土地の提供(減歩)によって、用地を確保し整備が進められています。



都市計画道路 淡路駅前線の状況

※詳細は、都市整備局ホームページ <http://www.city.osaka.lg.jp/toshiseibi/page/0000021663.html> を参照して下さい。

○連続立体交差事業との関係

淡路駅周辺の高架構造物は、下の図のとおり土地区画整理事業によって確保された用地に建設を行う必要があるため、土地区画整理事業者である都市整備局と事業進捗等について、調整を行いながら進めています。

淡路駅周辺地区土地区画整理事業設計図

